進路だより

令和4年度　第7号
下関南総合支援学校　進路部
令和4年12月14日

今回は、高等部の産業現場等における実習（以下、現場実習と記す）についてお伝えします。

＜現場実習のねらい＞

現場実習には以下に示しているようなねらいがあります！

・勤労に関わる体験学習を通して働く意味を考える。
・実習を通して、自分の進路や適性について理解を深める。
・事業所の人々との関わりを通して、望ましい人間関係や態度、習慣を養う。
・実習を最後までやり抜くことを通して、成就感や成功感を味わい自信をつける。

＜実習先の選択について＞

現場実習は、自分の課題を探りながら、将来の夢や職業、自分の生き方について考える良い機会となります。また、社会の一員としての自覚を深めていく効果も期待できます。実習先を選択するときには以下のことが必要です！

【生徒】
・自分にあった進路先を考える。
・目標をもってしっかり取り組む。
・いろいろなことにチャレンジする気持ちをもつ。

【保護者】
・子どもの力や家庭の諸条件を考え進路先の候補を絞り込む。
・子どもの将来像を考える
・何事も挑戦させてみて、何の支援が必要であるかを明確にする。

高等部卒業後の進路を意識して実習に取組み、自分の課題を解決できるように学校生活で取り組み、必要とされる知識、技能、態度を身に付けましょう。

事業所がよくわからない時や迷っている時は進路部の教員までご相談ください。

＜実習事後指導について＞

　実習先の評価等は、反省会でよく確認し、本人・保護者・学校で共有し、学校生活や家庭でどう生かしていくかが大切です。
失敗したことや課題に感じたことはどうしたらよいかを考えて、学校生活や家庭で課題解決に向けて取り組んでみましょう。

＜高等部普通科現場実習＞

　今年度、高等部普通科では前期は6月20日（月）から7月1日（金）、後期は11月28日（月）から12月9日（金）の1週間または2週間の期間で全学年が現場実習を実施しました。コロナ禍で昨年、一昨年と現場実習を実施できずにいたので、全学年で実施するのは3年ぶりです。





　今回は後期の実習の様子を紹介します。現場実習を実施したのは12名の生徒です。事前学習で自分の目標を決め、様々なことに挑戦してきました。できたこと、難しかったこと、困ったこと、褒められたことなど様々なことがあったと思います。
　初めての実習で緊張した人もいたと思いますが、各事業所のスケジュールに合わせて、全員よく頑張りました。
実習は終わった後の振り返りが大事です。ご家庭や学校でしっかり振り返りをして、自分の得意なことや苦手なことを再確認してください。頑張ることを見つけた場合は、学校生活で新たな目標を立て、得意なことや好きなことを増やしていきましょう。

＜実習報告会＞

　今年度は年に1回の前後期現場実習をまとめた実習報告会を令和5年1月19日（木）2校時（9時50分）から実施します。保護者の方々にも参観していただきたいと思います。詳細については後日お知らせします。